



広報みすす

6
2019

第464号

美鈴が丘まちづくり協議会

「広報みすす」は団地の創設に併せて創刊され、早や40年が経過した。現在、約4千世帯。人口1万人の幼小・中・高が揃った学園団地。歴代の広報部員は、美鈴が丘の営みの歴史を各行事の記録を通して大切にバトンを引き継いで伝統を守り伝えて来た。特に四大行事と言われている「とんど」「夏まつり」「敬老会」「町民大運動会」は、団地創設当初から長く継続傳承されて来た諸先輩方の熱い地域愛の賜物であり、貴重な地域史になっており、美鈴が丘を語る上でなくてはならない季節を彩る風物詩になっている。豊かな伝統文化と整備された自然環境の美鈴で育

人集まる所 広報あり まちの活性化を 縁の下から応援



ち、賑わいの中で楽しい思い出をたくさん体験して巣立って行った子ども達が将来、終の棲家としてUターンして来る大きな要素にもなっている。世間一般、格差社会と言われ地域コミュニティの希薄化が進み、町の伝統行事が軽視される傾向にあるが、美鈴が丘では長く愛着を持って歌い継がれている「美鈴音頭」「美鈴が丘の歌」と共に、伝統を美鈴が丘の大切な地域遺産と考え、次世代に引き継ぎ発展させて行く大事な使命がある。

『子どもが増えて来ない』と町は発展しない。少子高齢化時代の中で必然的に発生する空家に、子育て世代が移り住んでくれるようにするには子育てに適した安全・安心な町の環境が必要。①防犯組織やガードボランティアが学校・駐在所と緊密に連携、新たに加わった青色回転灯パトロール隊と共に登下校時や夜間のパトロールに力を入れ不審者情報のレベルから潰していく。学校と地域が連携する行事が活発に行われ地域が子ども達を見守る仕組みがある。アイサツ運動も盛んで「こども110番の家」の登録も積極的が多い。②町内会組織がしっかり機能している。町内会行事に子ども達が参加し易い環境づくりを心掛けていく。ゴミ出しルールを守り不法駐車も少ない。③きれいなまちづくりを推進中。里山整備事業として除草・桜の植樹などを継続し環境美化に努めている。周辺の山々は手軽なハイキングコースになっており四季を通じて自然を満喫できる。20数カ所ある公園も各

町内会の努力できれいに整備されている。また、ペットとの共生社会を目指し犬の糞処理ルールを順守する啓蒙活動も実施中。④文化的な行事に力を入れている。地域と学校がタイアップして「ふれあい音楽会」を長年継続している。公民館や各集会所でも演奏会を盛んに開催。美鈴神社の神楽も子ども達に大人気。芸術文化は人の心を豊かにする・音楽は人の心を優しくしてくれる。文化の価値を高く評価し、児童、生徒が落ち着いて勉学に集中出来る就学環境が美鈴にはある。

季節ごとに多彩な行事があり、楽しい思い出作りには事欠かない。自分の住む町が大好きになるようなふるさとづくりを応援。「子育てし易いまち」と言う数々の魅力に加え、伝統の重みの価値観もしっかり伝承して行く重要な使命を広報部は担っている。

40周年記念誌ができました！

私たちが日々の暮らしを送り、家族の歴史をつむぎ、終の住処になるだろう「美鈴が丘」がどんな町かを知り、そしてこれからの美鈴が丘のあり方を考えるきっかけになれば、という思いで多くの方たちと編集に携わりました。限られたページ数でそれが十分に表現できるか、できたのか、悩みつつも皆で協力して編集作業を進めました。たった1行の文章のためにあちこち駆けまわり、数日費やしたスタッフもいました。

『30周年記念誌』で「『歴史』とは事実があって記述されるのではなく、記述によって事実が浮き彫りにされる」と書きましたが、今回の『40周年記念誌』でも、「記憶だけでなく記録することによって美鈴が丘の歴史が刻まれる」と記させていただきました。

どうか私たちスタッフ全員の思いや願いを汲んでいただければ幸いです。

40周年記念誌 編集室 澤田 俊子

美鈴モールの40年史

連載一

昭和60年「美鈴モール商店会」が発足しました。商店街建設に関して、三井不動産との契約では、スーパーとモール街はコの字型フラット配列になる予定でした。しかしスーパーの事情により計画変更を余儀なくされました。スーパーの一部2階建としモール街と橋で結ぶ案。東街区とモール街をむすび、「みすずモール陸橋」とする案。しかし「美鈴モール陸橋」案は、役所の許可が下りません。理由は30メートル先に既に階段があり不必要と言う解答です。半ば諦めていた時、広島銀行前横断歩道近くで、車による人身事故が2件続けて起きました。これがかきつけて申請が下りました。

昭和60年11月「みすずモール陸橋」とモール街整備をやっと完成させる事が出来ました。完成祝賀式典には、当時の荒木広島市長が出席され、式典終了後、緑街区を視察。当時高等学校の新設計画があり市長の推薦で？美鈴が丘に決定したと聞いています。昭和63年4月「広島市立美鈴が丘高等学校」が開校いたしました。

また合併の案件で五日市町側からの、かけ込み補助金により、南集会所が完成。続いて西集会所の建設計画が持ち上がりました。いろいろの手続き等苦労しましたが、1世帯2万円の負担金と補助金合わせ2千万円弱で完成させる事が出来ました。あれや、これやとモール街が輝いた時代であったと思っています。

美鈴モール街会長 平川 和男

◆第35回佐伯区民

スポーツ大会 5/19

佐伯区スポーツセンターで行われた開会式の後、8種目の競技が各会場で熱く繰り広げられた。わが美鈴が丘学区はソフトテニス2位、ソフトボール3位と健闘。バレーボール会場では取材を忘れるほどの接戦となっていた。日頃の練習と、仲間のいる楽しさが感じられる。各競技の選手皆さんお疲れさまでした。(田中)



大熱戦のバレーボール



堂々の町内会旗で行進

◆タケノコ掘り 5/8

美小の三年生106人の

体験行事。恵みの森武村さんから注意を聞いた後、タケノコと格闘。「とったぞー」広い竹林に歓声が響く。深いのはおじさんにクワで掘ってもらい、「お母さんにアク抜きしてもらってね。」おばあさ



106人全員にお土産

んの方が上手なんよ。」令和っ子のトークです。(小川)

◆南極昭和基地今昔

美鈴が丘お通者クラブ

1957年1月、南極観測隊がオングル島に上陸して観測基地の設営に成功した。日本の南極観測の歴史がこの地から始まった。第20次越冬隊員の森川さんから南極の様子や昭和基地の変遷について解説をお願いした。

有名なカラフト犬二頭が、極寒の環境を生きた生き物が確認された時、日本中が驚き歓びに沸き返った。「タロー、ジロー」である。又世界的貢献は、南極

点真上のオゾンホールが発見がオゾン層を破壊するフロンガスの規制促進に世界を巻き込む大きなうねりを起こした。

今回「南極の石」と「南極古代氷」が展示された。1〜2万年前の氷に耳をあてて「パチパチ」閉じ込められていた空気が弾ける太古の音に思いを寄せる事が出来た。

南極は太古の地球の歴史を体験できる「タイムカプセル」であり、将来の地球を守る「センサー」でもある。(松川)



選手宣誓



懸命に綱を引く

◆第34回美鈴が丘

中学校体育祭 5/18

開会宣言のあと、相川校長が「昨年度の豪雨災害にも関わらず、関連各位のご協力で無事体育祭を開催することが出来た事を大変嬉しく思います。今年度の魅せる美中の底力」をここ2週間の練習で見せてもらった」と生徒たちにエールを送った。騎馬戦、リレー、3年生のソーラン節など楽しく見せてもらった。(山本)

こんにちは赤ちゃん 28

美鈴に生まれてきてくれて
ありがとう!!

脇坂	航輔くん10/4東1
小田	のの鳳ちゃん11/22緑1
北坂	優真くん11/20西2
上橋	純子ちゃん12/2西2
宮家	大翔くん12/4西5
北角	陽咲ちゃん1/1緑1
岡本	瑛太くん1/4東1
和田	奨くん1/25西5
西川	結唯ちゃん1/28緑2
高柳	香帆ちゃん2/23緑1
寺内	逞翔くん2/23南2
岩倉	可弦くん3/17東3
佐々木雄星くん	4/7西5

◆クリーンキャンペーン
(一斉清掃) 5/19
公衛協主催で佐伯区
春のクリーンキャン
ペーン(一斉清掃)が
全町内で行われた。9
時に全員集まり、町内
役員からの注意点を聞
き作業開始。清掃作業
は1時間程度で終了も、
久しぶりに顔を合わせ
るご近所の面々による



井戸端会議さながらの
多くの輪が出来上がり、
正に住民どうしの情報
交換の場になっている
ことが実感できた。

お母さんの一言

- ・お姉ちゃん達と仲良く元気一杯で。
- ・お姉ちゃんが頭を撫ぜるとにこにこです。
- ・すすすす元気に育ってね
- ・生まれてきてくれて有難う!!
- ・優しく逞しく大きくなってね
- ・心も身体も健康ですすすす育ってね!



バングラデシユ旅行記 馬場 隆志

インドの東隣に位置し、外国からの観光客が少ないバングラデシユに旅行をしました。人口が1億6千万人と多く、アジアでは最貧国のひとつとされています。首都のダッカはインフラ整備の遅れで交通が大渋滞。中央駅周辺の線路沿いは市民の生活の場となっており、子ども達は犬や鶏や山羊などといっしょに遊んでいます。一方地方都市や農村には戦後昭和20年代を経験している私にはタイムスリップしているようで懐かしく感じられる光景が沢山ありました。田んぼには数人が這いつくばって草取りをしている姿や、レンガ工場では頭の上に高くレンガを載せて運んでいる様子を見ることができました。草葺きの家から出てくる子どもが片手にスマホを持っている姿もよく目にしました。また、ホテルのテレビのチャンネルは100近くあり、そのほとんどで放映しているのにはビックリ。この旅行で特に印象に残ったのは明るい笑顔とキラキラと輝いた目をしている子ども達の姿です。バングラデシユの人は見知らぬ人にも優しく親切に接してくれ、カメラを向けても快く応じてくれます。観光化する前の今のバングラデシユは魅力満載です。



◆交通安全見守り 旗振り講習会

5/29美鈴が丘小学校体育館に於いてPTA保護者と地域ボランティア30人が参加して、広島市役所道路交通課職員5名の指導のもと、子ども達の交通安全の旗振り講習会が開催された。全員旗の振りを熱心に実践しマスタートーした。また新1年生も全員体育館に集まり事故に遭わないよう



熱心に旗振り練習

に登下校の注意点を教わった。昨今子ども達の痛ましい事故が多発しています。運転手の皆さん横断歩道に子どもが立っていたら必ず停車してください。くれぐれもお願ひします。
(中本)

健康ひと口メモ

胆石の今と昔

胆石は肝臓が作る胆汁が固まったもので、食後に激しい痛みをおこすことがある病気として知られています。胆汁は脂質の消化を助ける消化液で、胆のうで留められ濃縮されて十二指腸から分泌されます。その為半日以上食事をとらなかつたり、脂質の摂取を極端に控えたりしていると、胆汁が胆のうに長時間留まったままとなり、胆石が作られやすくなるとされています。

昔から胆石の痛みに苦しむ人は多く、当時は粗食や低脂肪食が原因だったようです。現在では胆汁に含まれる脂質が多いために胆石がつけられる人が増えていて、その原因は食べ過ぎだとされています。脂質を取り過ぎないように、吸収を抑える食物繊維が豊富な野菜や海藻類を意識して食べるようにしましょう。
(西日本メディカル㈱
カレンダーより)

ようこそ



4月1日付(敬称略)

美鈴が丘へ



美鈴が丘小学校
教頭
上田 修

◆書道パフォーマンス でもてなし準備

4/24

美鈴が丘高校書道部は4月30日に五日市埠頭で世界的なクルーズ船クイーンエリザベス号の寄港を歓迎するイベントで書道パフォーマンスを披露した。元号が平成から「令和」に代わるのを記念しての挑戦で、部員たちで考えた新しい出発を後押しする意気込みを書で表現。本番に備えての練習風景がNHKお好みワイドで生中継。堂々として躍動感溢れる出来栄で好評を博した。



◆5年生が田植え体験

5/20

講師の堀江壮先生のご指導の下、毎年「美鈴米」を育てて収穫しています。どの子も田んぼに入るのは初めてで最初は恐る恐る。約2時間で完了。収穫したコメは給食で頂く予定です。



慣れない手つきで田植え



小・中・高校が揃う
元気一杯の学園団地



4m×8mの超大作を
皆で仕上げた

◆砂防ダム水路の清掃

5/18

緑街区の2カ所で砂防ダム直下の水路に土砂が溜まっており、その撤去を試みた。「30年ぶりの清掃じゃね」と言いながら、町内の約30名が、スコップをふるった。(小川)



水路は良好、梅雨もOKだね

生き生き法律教室のご案内

～知ればもっと楽しくなる～

少子高齢化が進む中、美鈴が丘団地にお住まいの高齢者やご家族を対象に、老後の不安を少しでも取り除き、安心して暮らしていける地域づくりのお手伝いとして、地区社会福祉協議会と一緒に、相続・遺言、成年後見制度等をテーマに研修会を開催します。(無料)どなたでもお気軽にお申込みください。

開催日 7月20日(土)

開催時間 14時～16時

開催場所 美鈴が丘公民館2階

講師 広島司法書士会 会員
米田 光志 先生

《申込先》

地域包括支援センター 担当:大野

電話:082-208-5017

受付開始日:6月20日(木)から

※定員(50人)になり次第締め切らせて頂きます。

住民の声(目安箱から)

美鈴が丘に居住して40年、時間があるので買い物やらで、徒歩や車で町内を移動してはいますが、特に最近気になることは挨拶が無い、子ども達ははつきり挨拶は帰ってきませんが、帰って来ないのが大人。無視されると情けなくなります。また、先日交通事故を無くす為、横断歩道を渡りましょうの、立て看板を設置したにも関わらず平気で横断している方

がまだ沢山います。先日子どもが渡っていたので注意したら、大人はええん」と逆に聞かれました。そうです子どもは見ているのです。未来の子ども達に見本となり住みやすい町づくりにする為マナーとモラルに気をつけたいものです。(一住民)



■お知らせ・催し

6月14日(金)

・金融・経済講座・消費税10%導入に向けて6月15日(土)

6月15日(土)

・美鈴が丘高校文化祭献血(文化祭の中で公衛協と共催)

6月26日(水)

・平和集会

7月6日(土)

・美鈴が丘小学校

・防災体験ツアー・総合防災センター

7月7日(日)

・第17回ソフトバレー

8月3日(土)

・第40回夏祭り

8月31日(土)

・小学生防災体験ツアー・総合防災センター

9月15日(日)

・第39回敬老会

石内福祉センター

おこやみ

5/20栗栖ミサヲ様(96)東1ご冥福をお祈りします。

きさらぎ旬会

◎今月的一句

桑の実の黒きを

食みて里心

陽子

広報みすず
第464号
編集
発行
美鈴が丘まちづくり協議会
発行日
令和元(2019)年6月7日